

TMS エージェントが複製パートナー間で使用するポートはどれですか。

内容

[概要](#)

[TMS エージェントが複製パートナー間で使用するポートはどれですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server ExpresswayおよびCisco TelePresence Management Suite製品に関連しています。

Q. TMSエージェントがレプリケーションパートナー間で使用するポートはどれか？

A. TMSエージェントは次のポートを使用します。

- ポート 389 : TMSとすべてのVCSの両方でローカル
- ポート 8787 : TMSとすべてのVCSの両方でローカル
- ポート 4444 : パスワードの変更、VCSへの初期レプリケーション (認証など) など、すべてのレプリケーションパートナー間で使用されるTMSエージェントの管理ポート。このポートで交換されたトラフィックは暗号化されます
- ポート 8989 : すべてのレプリケーションパートナー間で使用されるレプリケーションポート。このポートで交換されるトラフィックは、TMS 12.5以前のリリースでは暗号化されません。このポートで交換されるトラフィックはTMS 12.6で暗号化されます。

ポート4444と8989の両方が、初期レプリケーションのセットアップ時に使用されます。ポート4444 (管理機能用)、ポート8989 (データ用)。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)